

令和6年度高知大学リテラシーレベル数理・データサイエンス教育プログラム

自己点検・評価結果について

令和8年1月26日

全学教育機構会議

・リテラシーレベル教育プログラムの実施

文部科学省により数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)の認定を受け、共通教育内に図1、図2に示す教育プログラムを実施した。令和6年度のプログラム修得者は、令和5年度以前入学者は2名(昨年度18名)、令和6年度入学者は1,032名で、合計1,034名であった。

(11) 高知大学リテラシーレベル数理・データサイエンス教育プログラム

「数理・データサイエンス教育プログラム」とは?

近年、急速なデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展に伴ってデータサイエンスを理解し、扱うことのできる素養をもった人材が社会に望まれています。

高知大学においても、このような素養を身につけた人材を育成するためリテラシーレベルの数理・データサイエンス教育プログラムを令和3年度より開設しました。

共通教育における以下の科目から、必修、選択A群及び選択B群からそれぞれ1科目以上を修得すれば、本学の数理・データサイエンス(リテラシーレベル)修了者として認定されます。なお、対象者は令和2年度以降入学生です。

区分	科目名	単位数
必修	情報処理	2
選択 A	DXとビジネス創出	2
	さわってわかるAI講座 ～基礎理論からクラウドサービスを使った実践まで～	2
選択 B	データ活用のためのプログラミング入門	2
	データサイエンス実践課題演習	2

図1 令和5年度以前入学生用共通教育履修案内抜粋

(11) 高知大学リテラシーレベル数理・データサイエンス教育プログラム

「数理・データサイエンス教育プログラム」とは?

近年、急速なデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展に伴ってデータサイエンスを理解し、扱うことのできる素養をもった人材が社会に望まれています。

高知大学においても、このような素養を身につけた人材を育成するためリテラシーレベルの数理・データサイエンス教育プログラムを令和3年度より開設しました。

令和6年度以降入学生は、必修科目である導入科目群 数理・データサイエンス・AI科目の「情報とデータリテラシー」および「データサイエンス入門」を修得すれば、本学の数理・データサイエンス(リテラシーレベル)修了者として認定されます。

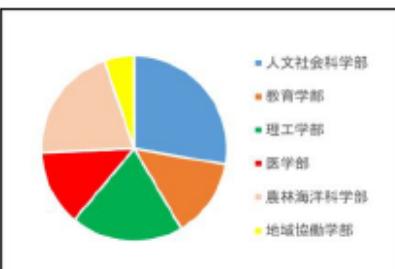
図2 令和6年度以降入学生用共通教育履修案内抜粋

・リテラシーレベル教育プログラムの自己点検結果

令和6年度入学生でデータサイエンス入門の受講生を対象として、令和7年1月27日～2月3日にMicrosoft Formsにてアンケートを行った。受講生1,108名に対する回答は790名で回答率71.3%であった。以下、図3～図5にアンケート結果を示す。

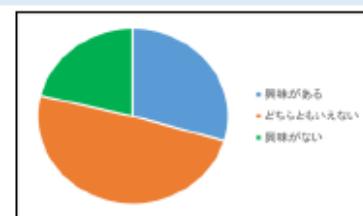
(1) 所属学部は、どちらになりますか？

人文社会科学部	219	27.7%
教育学部	109	13.8%
理工学部	155	19.6%
医学部	104	13.2%
農林海洋科学部	162	20.5%
地域協働学部	41	5.2%



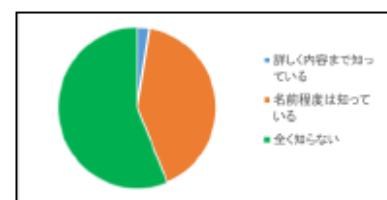
(2) 「データサイエンス」に興味はありますか？

興味がある	232	29.5%
どちらともいえない	387	49.2%
興味がない	167	21.2%



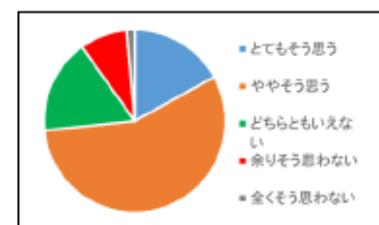
(3) 高知大学の「数理・データサイエンス・AI教育リテラシーレベルプログラム」について知っていますか？

詳しく内容まで知っている	19	2.4%
名前程度は知っている	327	41.4%
全く知らない	443	56.1%



(4) 「データサイエンス入門」の授業は、分かり易かったですか？

とてもそう思う	134	17.0%
ややそう思う	445	56.4%
どちらともいえない	132	16.7%
余りそう思わない	67	8.5%
全くそう思わない	11	1.4%



(5) 「データサイエンス入門」の授業内容について、関心を持てましたか？

非常に関心を持てた	85	10.8%
関心を持てた	389	49.4%
どちらともいえない	181	23.0%
あまり関心を持てなかった	110	14.0%
全く関心を持てなかった	23	2.9%

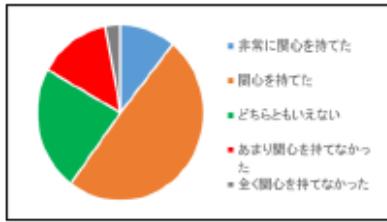
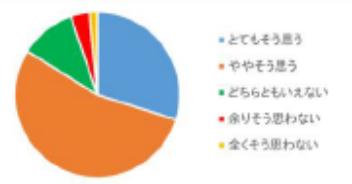


図3 アンケート結果（設問1～5）

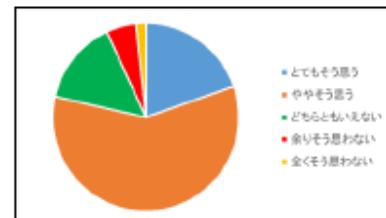
(6) 「データサイエンス入門」の授業内容は、専門科目の学習や将来の仕事で役に立つと思いますか？

とてもそう思う	235	29.9%
ややそう思う	425	54.0%
どちらともいえない	86	10.9%
余りそう思わない	29	3.7%
全くそう思わない	12	1.5%



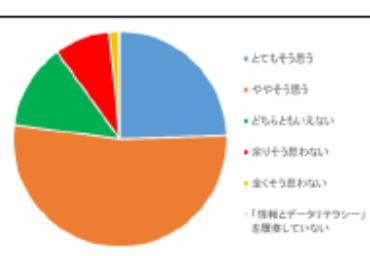
(7) 「データサイエンス入門」を履修して、自分の知識や技能が向上したと思いますか？

とてもそう思う	155	19.7%
ややそう思う	463	58.8%
どちらともいえない	115	14.6%
余りそう思わない	41	5.2%
全くそう思わない	13	1.7%



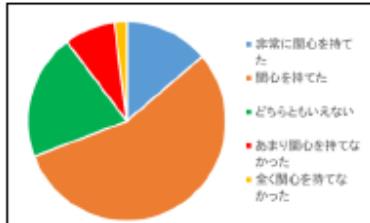
(8) 1学期の「情報とデータリテラシー」の授業は、分かり易かったですか？

とてもそう思う	196	24.8%
ややそう思う	414	53.3%
どちらともいえない	101	13.0%
余りそう思わない	66	8.5%
全くそう思わない	12	1.5%
「情報とデータリテラシー」を履修していない	1	0.1%



(9) 「情報とデータリテラシー」の授業内容について、関心を持てましたか？

非常に関心を持てた	108	13.8%
関心を持てた	435	55.5%
どちらともいえない	160	20.4%
あまり関心を持てなかった	65	8.3%
全く関心を持てなかった	16	2.0%



(10) 「情報とデータリテラシー」の授業内容は、専門科目の学習や将来の仕事で役に立つと思いますか？

とてもそう思う	284	36.2%
ややそう思う	417	53.1%
どちらともいえない	60	7.6%
余りそう思わない	19	2.4%
全くそう思わない	5	0.6%

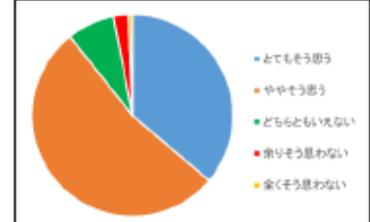
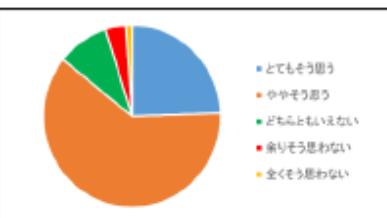


図4 アンケート結果（設問6～10）

(11) 「情報とデータリテラシー」を履修して、自分の知識や技能が向上したと思いますか？

とてもそう思う	192	24.5%
ややそう思う	481	61.3%
どちらともいえない	74	9.4%
余りそう思わない	29	3.7%
全くそう思わない	9	1.1%



(12) 「情報とデータリテラシー」、「データサイエンス入門」は、入門の段階（リテラシーレベル）の教育プログラムでした。学部によっては、次の段階（応用基礎レベル）のデータサイエンスに関連した科目が準備されています。あなたは、データサイエンスをさらに深く学習したいと思っていますか？

とてもそう思う	92	11.7%
ややそう思う	314	39.9%
どちらともいえない	195	24.8%
余りそう思わない	147	18.7%
全くそう思わない	39	5.0%

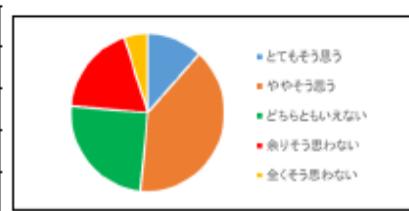


図5 アンケート結果（設問11, 12）

「情報とデータリテラシー」及び「データサイエンス入門」共に専門科目の学習や将来の仕事で役に立つと思うかとの質問に対し、とてもそう思う、ややそう思うと回答した割合が80%を超えており、授業の内容が充実したものだったことが伺える。

設問13と設問14は授業やデータサイエンス教育について自由記述で任意回答があり、設問13は198件、設問14は20件の回答があった。

あなたが、「情報とデータリテラシー」及び「データサイエンス入門」授業に関して感じていることを、自由に記述して下さい。とくに、この授業の「良い点」および「改善して欲しい点」について、強く感じていることを記述して下さい。（設問13）は以下の通りである。

良い点は、生成AIなど最新技術だけでなく機械学習や多層構造などAIの仕組みや考え方について詳しく知ることができ、勉強になったところである。改善してほしい点は、自動音声だと理解しにくいところがあった。

「情報とデータリテラシー」での授業の後半部分の内容が難しく、一人ではできないような課題があったのでもう少しレベルを落としてもらいたかったです。

「情報とデータリテラシー」では、対面授業で基本的なパソコンの使い方（Wordなど）について教えていただけたので、とてもありがたかったと感じています。

「情報とデータリテラシー」ではWordやExcelの使い方など、パソコン初心者の私にとっては今後大学生活を送るうえで有意義な知識を獲得することができた授業であった。一方「データサイエンス入門」はコンピューターの仕組みといった内部的な構造に特化した授業であったため個人的に興味を持ちにくかった。正直、必須科目にするには専門性が高すぎるように感じた。

「情報とデータリテラシー」ではスライド発表など自主的な参加が求められることが多々あったため、その分記憶として定着しやすい授業形態であると感じた。「データサイエンス入門」はオンライン授業であり、ほとんど受動的な授業であるから、記憶として定着しにくいと授業形態であると感じた。また「データサイエンス入門」では、内容が多すぎることから、反復学習がしづらくなってしまっているように感じた。

「情報とデータリテラシー」の授業の課題で、指示が分かりにくいくらいがあった。

「情報とデータリテラシー」は、Word や Excel などの基本操作、電子メールの使い方といった実生活で役に立つ技術の使い方を学ぶ点で必要な講義であったと思う。「データサイエンス入門」は、数学分野の説明が非常に難しいと感じた。私の数学に対する理解が及ばなかったともいえるが、それを差し引いても分かりづらい。「高校までに該当範囲を履修していない」可能性を考慮してもよかったのではないか、と思う。

1、2、3、4 と分かれている確認問題で、1 の確認問題に出た知識を 2 の動画ではじめて出すことを改善するのが良いと感じる

1 学期の授業は、対面で分からないところはすぐに教員の方や SA の方が教えてくれたり、手伝ってくれたため、その分学びは深かったように感じる。オンラインであったが、「データサイエンス入門」も授業後の問題があり、その動画ごとの学びの理解度を確認することができたため良かった。

2 学期のデータサイエンス入門を特別授業枠にしているのであれば、長期休暇中に履修させてもらった方が時間的かつ精神的に余裕を持って学習できると思います。

AI が発達している時代なので、興味を持って学ぶことができた。データが取り扱われるしくみについて学ぶことができた。

AI については興味があるので、学ぶことが出来て良かったです。データサイエンス入門は、情報とデータリテラシーのように対面授業でやった方が、集中しやすかったです。計算問題は理解が難しかったので、できれば何とかしてほしいです。

AI についてを深く知ることができた。実際に AI を活用している場面も紹介してほしかった。

AI のことを知れたことがよかったです。これから AI の知識が必要になることが多くなると思うので、もっと詳しく勉強したい。

AI の開発の仕組みが理解できたのが良かった。

AI の種類とかの説明は理解できたのですが、計算や仕組みについてのところが理解できなかつたので、もう少しわかりやすくしてほしいです。

AI の天気予報の学習内容がとても難しかったことから解説が必要ではないだろうか。

Excel の関数は高校で習ったものの復習だったのでよかったです。

AI の内容やデータリテラシーの内容など今の時代に必要な知識を学べとても役に立つた。計算やグラフの問題のレベルが高すぎるように感じ、一学期の後半は自分が今何をしているのかや何の意義があるのか理解できないまま手順だけ真似をするような形になってしまった。

AI の利用について中心的に学べてよかったです。

AI やデータにまつわる課題を理解できた点。データサイエンス分野は、非常に専門的な内容であったため、身に付いていないように思えた点。

AI 音声のせいか、動画を止めて止める作業が少し面倒だった。しかし、自分のペ

ースで進められるという点ではとてもいいことだと考えている。また、学校に来て動画を各自で見るならば、後期に行ったように、非同期オンデマンドでもいいのではないかと前期感じていた部分があった。

Excel が使えるようになったこと。

excel をもっと学んでみたい。

IT 社会の中で生き抜くためにも、この講義で学んだことはとても役に立つと思った。やさしく一から指導していただきわかりやすく、とてもためになった。

PC やデータが苦手なので、学ぶきっかけになった。浅く広く学習するため、内容が頭に入りにくい印象がある。

TA の先生が分かりやすく説明してくださる場面が多くてスムーズに作業が進められました。

Word について詳しく学びたい

word や Excel の使い方など全く分からなかったが理解して使用することが出来るようになった。

Word や PowerPoint、Excel などを利用の仕方やその工夫、また AI について活用の仕方や注意点、課題等を動画を見て、その確認を小テストですることができたので、少しは自分も活用できるようになったと思います。授業の内容で少し難しい項目はありましたが、講義全体を通して深い学びができたので良かったです。

word や powerpoint はほかの講義でもレポート課題や発表で使うので、この講義ではある程度の操作方法は理解できたのでよかったです。

あまりにも難しすぎる。

ありません

いきなり難易度が上がるわけではなかったので頭に入りやすかった

いつも授業を受けう媒体が、インターネット中心であるために、授業とマッチしているところがいい点だと考えました。

エクセルの授業等は解説が少し分かりにくく、課題を行うのに苦労したため、もう少し初学者に向けた初步的なことから少しづつレベルを上げるような授業作りをしてほしい。

エクセルやパワーポイント、ワードの活用方法について、情報とデータリテラシーで学んだことが期末レポート作成の際などに役立ちました。これらの活用方法についてもう少し学びたかったです。

エクセルやパワポの能力が身につくのは良いと思った。私のような情報に疎い人間には理解しにくい部分もあった。(謎の数式、謎の用語など)

エクセルを使ったデータのまとめ方など基本的なことを教えてくれるのはよかったです

ondeマンドで都合の良い時に受けられる

オンラインであるのがよかったです

オンラインの小テストのみだとあまり学べたように思えなかつたので、何か作るような課題も欲しかった

オンライン講義のほうが自分の時間に合わせて学べるため良かった。

オンライン授業だったのでいつでも受けることができる反面受けるのを忘れかける時が目立つと思いました

この講義の良い点は、一つずつ段階を踏んで教えてくれるところにあると思う。改善して欲しい点はない

この授業の良い点は、オンラインで自分ができる時に自由に進めることができるところです。苦手分野ではあったけど自分のペースで進められたので、そんなに苦にならずに続けることができたと思います。改善点は、ごくたまに確認テストが難しすぎた時があったところです。自分の勉強不足ではあると思いますが、もう少し難易度を安定させて欲しいと思いました。授業を受けるだけでなく、その確認として小テストの制度があるのがとてもありがたかったし、点数が高いと自信にもつながってやる気になったので全体的にとても良いと感じながら授業に臨むことができました。

これから PC を使いこなすことは必ず求められるため、そのための知識を得ることができて良かった。

これらの授業は、これからの 2 回生以降の授業だけでなく、将来の仕事にも役立つであろう内容だったので、非常にためになった。

セキュリティーや情報管理の基礎的なことから AI がどのように進化してどのように使うべきか知ることが出来大変有意義であると考えた。

データサイエンスという言葉だけで見れば敷居が高い学問だと思ったが実際の内容は興味深いものが多く面白かった。

データサイエンスについて興味を持てた

データサイエンスの概要が大まかに説明されている点は良かった。しかし、機械学習等の内容は若干難しく、活用する(活用できる)人の割合が少ないように感じたため、それ以外の分野をもう少し掘り下げた方が学習者の負担が減ると感じた。

データサイエンスの知識が得られるのがいいなと思いました。

データサイエンスはオンライン授業で好きな時に受講できるのがよかったです。

データサイエンス入門がオンラインなのに情報とデータリテラシーがオンラインでない意味が分からなかった。また難しいのかもしれないが学部や専門に関わるものを絡めていると身に入りやすいのではないかと思う。

データサイエンス入門ではあまりに部分的な説明しかされず、かつ毎回の授業までの時間の空きで、知識の連結ができず難しく感じた。

データサイエンス入門で指示がよくわからないところが多かったため、先生が解説するか、オンラインで行うかのどちらかにしてほしい。

データサイエンス入門の講義を受けて、動画を見るだけだと技能の向上にはつながりにくいと感じた

データサイエンス入門の第 1 回～10 回の授業はかなり難しく感じた。

データサイエンス入門は、自分のペースでどんどん進めるところが良いと思いました。

ただ、情報とデータリテラシーは、先生と対面して質問した方が早く解決する場面が多く、ふたつの授業のリモートか対面、どちらが相応しいかの判断がとてもいい塩梅だと思いました。

データサイエンス入門はオンデマンドに授業であるため、分からなかった箇所をもう一度見ることができるので、勉強に役立った。また、音声読み上げで解説されるので、抑揚がなく動画で受講する点では人の声よりも聴き通りやすく感じた。

データサイエンス入門はオンラインで自分の時間がある時間に受講できることがとても

よかった

データサイエンス入門は専門用語が多くて難しいと感じた。

データサイエンス入門は内容が難しすぎて受ける必要があるのか疑問に思うほどだった。

データや情報についてよく学ぶことができた

テストの回答する時も時間に余裕があるので、分からぬところは調べられるので良かった。

テスト後に回答が発表されないと自分の理解度がわからないので、毎回発表してほしい。

とくになし

とくになし

どんな時にその情報や入力方法が役に立つかという点が分かりにくくて、理解はできてもこの先に役立てにくい内容だったと感じた。

ナレーションが自動音声であるため、話し方が単調で情報が入ってきにくく感じた。

人のナレーションにしてほしいと思った。

パソコンやインターネットの基本知識や、基本ツールの操作方法などを学びなおせてよかったです。また、これからさらに重要になってくるであろうインターネットにおけるより詳しい知識や危険性を学べたので、これからの大学生活・社会生活に活かしていくたい。

プレゼンのスライドの作り方など、実践の機会がもっとあるとありがたいと思いました。

プログラムに興味がある人にとっては非常に興味深く楽しい授業になると思うが、そうでない大半の人にとってはオンラインでの授業はあまり興味を惹かれないと思った。

もう少しまとめる部分があったかなと考える。章ごとに細かく教えてくれることはわかりやすくためになることが多かった。小テストがあることによって振り返ることもできた。

やるだけで終わってしまうことが多かった。楽しく学べるような授業を作ってほしい。

ワードやエクセル、パワーポイントの使い方や関数など、データに関する多くの知識や技術、情報リテラシーなどを身に付けることができた。「情報とデータリテラシー」は対面で、パソコンを使って実際に作業をしながら学習したため、理解しやすく、その知識をレポートやパワーポイント作成など、大学生活でも活かしている。社会に出た時にも生きるのがこの授業の「良い点」だと思う。

ワードやエクセルなどを使えるようにするような授業はまだよかったが、関数などを教えられても特定の分野の人にしか活かせないと思う。

ワードやエクセルなど仕事をするうえで必要不可欠なことをもっと学びたい

一学期の動画のスピードが遅かったことと確認問題の一部が難しかった。

一般的な職に就けば社会で使わないであろう内容が多い気がした。

一部の課題が少し難しく感じることがあった。特に、実践的な課題は少し手が出しづらいと感じることがあるためもう少し基礎からじっくり進めのような構成や、サポート体制が強化されると良いかもしれないと思った。

映像があるとわかりやすいと思う

音声が機械だから眠たくなりやすい

音声が機械であり授業への集中力がそがれた。基礎的なことをしっかりと理解できていない中で応用のことをやるのはやめてほしい。もっと、普段のインターネット操作に身近なこと、それを少し延長したことを教えてほしかった。

音声の字幕が出ているおかげで聞き取りにくかったところや感じが分からなかったところが分かりやすいと感じた。

改善してほしい点として各講義の締め切りが1週間しかないのが制限だった。

確認テストを通して自分の理解を深めることができたと思う。

確認問題で、正解表示がでてこない時があったが、自分がどこを間違えたのか知りたいため、正解表示が出ると良い

確認問題の解答の結果の出し方についてですが、いろいろ工夫されていたと思いますが、どの問題が間違ったのかはわかるように表示していただきたいと思いました。どこが間違っているのかもわからなければ、二回受けても同じ問題で間違ってしまってあまり意味ないのでと思いました。

学習した後に、小テストとして復習できるのはよいと感じた。

基礎的なことを学ぶことができて、自身の身になった講義でした。改善点としては、もっとAIを実際に扱ってみたかったです。

機械の声が聞き取りづらかった

機械音声より肉声の方が内容の理解がしやすいと感じました。

機械音声式の動画で講義が進んでいきますが、機械音声が頭に入ってきにくく感じるため、人が講義動画を撮った方がよいのではと感じた。また講義資料も文章が多くて理解しにくい点があるため図式を増やしてほしい。

機械学習、深層学習の原理や仕組みについて、授業内でもう少し詳しく説明してほしいと感じた。

具体例が多く挙げられているのが分かりやすいと感じた。

空き時間に自分のペースで学習を進められるところが良かった。

計算に出てくるアルファベットが難しく、意味等がわからなかった。

見直しができるところが良い

現代の社会に適応するための能力を身につけることができるところがいいと思った。

現代社会ではネットの利用が当たり前になっていたりパソコン技術、データ利用に長けていることが利点になったりするので、基本的なことだけでも広く浅く、そして時に実践もありながら学ぶことが出来たのはとてもよかったです。

現代社会において情報は重要な役割を果たしているため、情報の適切な使い方と、様々なルールについて本講義で知ることができてよかったです。

講義の内容が丁寧に説明されているため、わかりやすかった。

講義動画を見た後に確認問題を行うことで、授業の内容について復習することにつながり、理解が深められるのでいいと思いました。

講義動画を見た後に小テストがあるため復習になりいいと思う。

講義内容のスライドにプラスして解説の動画があるおかげで理解に苦しむことなくとても分かりやすかった。

今の時代に必要な力を学べているので将来に活かしていきたい

最近になって発展した技術などの知識を身につけられてよかったです。

最近よく使われるAIについて学ぶことができてよかったです。

参考書を見ながら問題を解いたりしたが、とても面白かった

仕方がない事かもしれません、音声で授業するより人（先生）と講義をしたかったと思いました。起伏のないじやべりで重要な点が分かりにくかったり、作業になっている方が多い気がしました。

視聴期限が1週間あり、自分の好きな時間に見れるのでよかったです。

資料の内容をもう少し見やすくしてほしい

自身の勉強不足ではあるが途中から理解しにくい内容が増えた上に関数の計算を交えるようになったため学習におけるイメージの定着が難しかった。

自分では学習したり触れたりしにくい分野を学ぶことができたので良かったと思う。

自分のペースで進めることができる点が良いなと思った。

自分一人だと分からない部分があり、後期も対面の授業だともっと理解が深められたのではないかと思い、少し残念でした。しかし、動画授業は自分の好きな時間に受けることができるという良さもあるので、対面と動画授業の半分ずつにしていただきたいと思いました。

自由な時に受けれるという点は融通が利くので良いと思う。

実際に作業に取り組んだり、小テストに取り組む機会が多かったため、かなりパソコンの技術やデータサイエンスの知識が身についたと思う。パソコンで作業を行う際にたまに説明が分かりにくかったり難しいことがあった。

実際に手を動かす授業が良いと思います。

実践する場が欲しい。

授業を通して、自分のコンピュータースキルは入学したときよりも向上したと思う。特に良かった点は、「情報とデータリテラシー」で分からなくなったりときにサポートしてくれる人がいた点である。改善してほしい点はエクセルの授業で難しすぎる数式を出さないでほしい点である。

授業資料や授業動画が非常に分かりやすかった。

授業内容の説明をした後に、確認テストを行い、そこから実習していくという流れがとても分かりやすかった。

授業内容は今後の学生生活に確実に生きると感じました。

将来あまり使わないであろう学習が多かったので興味を持てない部分が多くあった。

将来パソコンを使う機会が多くいろいろな情報を扱うことが多いと思うので、そこで役立つ授業ができているのがいい点だと感じています。改善して欲しい点は、マックブックの使い方に詳しい方も授業にいて欲しいということです。もっとスムーズに理解しながら授業を進めることができたと思います。

小テストの点数と答えが表示されない講義が何回かあったのですが、小テストを2回受けられるメリットがなかったので今後は、小テストの点数と答えがわかるようにして欲しい。

少しあわかりにくい部分があった

少し確認問題が解きづらかった。

情報とデータリテラシーでは、パソコンの機能について多くの知識を得ることができます

た。データサイエンス入門では、社会で発生しているデータの問題について学ぶことができた。

情報とデータリテラシーでは、画像だけではよくわからない複雑な箇所があったため、動画の解説も欲しい。

情報とデータリテラシーでは、先生が優しく教えてくださったので何とか終わらせることができましたが、1回の授業では終わりきれない量の課題が出たことが数回あり大変でした。良い点は先生が親身になって教えてくださることと、内容的に将来に役立ちそうなことを学習できたことです。

情報とデータリテラシーでは、先生や友人に分からぬことを質問しながらしっかりと理解することが出来たが、データサイエンス入門は毎回一人で取り組んでいたため、分からぬことが分からぬままになってしまっている。

情報とデータリテラシーでは小テストだけでなく実践的な課題もあったので技術や知識の向上を少し感じたがデータサイエンス入門では動画を視聴し小テストを回答するだけだったのであまり向上を感じられなかった。

情報とデータリテラシーでは著作権のことやワード、エクセルの使い方を学び、今後の大学生活での注意しなければならない点や適切な使用の仕方を学ぶことができたのでとても役に立ったと感じる。また、データサイエンス入門ではオンライン講義で自分の好きな時間に動画視聴することができ、効率的に学習することができたと感じる。

情報とデータリテラシーとデータサイエンス入門どちらも、動画、確認テストの流れで知識の定着ができた。しかし、情報とデータリテラシーの最後の課題とデータサイエンス入門の第11回の授業の内容が難しくて、理解が大変だった。

情報とデータリテラシーについては、オンラインでいいと思う。

情報とデータリテラシーに関しては、自分たちで黙々と進めていく形式だったので質問したい人は手を挙げるよう言われていましたが、挙げにくい雰囲気で少しやりにくさを感じました。

情報とデータリテラシーの授業から学べることは多くはなかったが、データサイエンス入門からは深層学習に至るまでの系譜を知る事ができてよかったです。

情報とデータリテラシーの授業でWordやExcelの使い方がある程度わかり、TA・SAの先生に教えていただきながらできたので、よかったです。

情報とデータリテラシーの授業では、いろんなソフトの使い方が知ることができ、大学生活のためになったと思います。データサイエンス入門の受講中に特に感じたのですが、日本語が難しかったです。なにかを説明するときに難しい日本語が出てくるので、そこを改善してくれたらもっとわかりやすい授業になると思います。

情報とデータリテラシーの授業において、人によって実践する活動の速さが異なっており、おいて行かれている人が大変そうだったため、同じ教室に居ても、同時進行させのではなく個人作業に取り組み分からぬところを聞きながらサポートして貰うという形がよいのではないかと感じた。

情報とデータリテラシーは、ただ説明しているだけで内容が分かりづらかった。データサイエンス入門は、情報とデータリテラシーよりかは内容が分かりやすかった。

情報とデータリテラシーはオンラインにしてもよいと思う。

情報とデータリテラシーは先生だけでなく、サポートの方が二人いて、分からぬところ

ろを気軽に聞くことができたので良かったです。

情報に関する学習ができて自分の為になって良かった

情報に関する内容は全体的に難しく、専門用語などが出てきたが専門用語の説明を加えられるともっとわかりやすくなると思う。

情報の分野を取り扱っていく中で重要な、基礎中の基礎を学ぶことができた講義でした。

説明が非常に分かりやすかった。

説明の時間が長く、練習問題が時間内に解き終わらなかったので、演習の時間をもっと多く取ってほしい。ただ、知識は、つけることができたと思うので、授業の存在自体は、意味があったように思う。

前期に行った対面式の情報リテラシーの授業では実際に表作成などの説明を見ながらExcelを扱う課題が毎回あったため、自分で実際にすることにより理解しやすく、身につきやすかったと感じた。

前期の授業では実際に資料等を作成したため理解しやすかったが、後期の授業は知識として与えられるだけで自ら学びたいと思うほど惹かれるものはなかった。

前期の授業の対面形式ではなく、後期のような非同期型オンラインのほうが、より自分の好きなタイミングで受講でき、知りたいと思ったことをその場でPCで調べられるので良いと思った。

前期は対面、後期はオンラインという半分ずつの授業形式が良かったように感じました。

大学で勉強するにあたってパソコンを使うようになりExcelやWordなどのツールについて学ぶことができ、非常に自分にとって利益のある授業であると感じた。

知らない間に締め切られていてもっと締め切り前に教えてほしい

知らなかつた専門的な知識を深く知ることができて良かった。

知識がついた

知識だけしか学ばないから身についたかわからない

動画ではなく、対面の授業で教えてもらった方が理解しやすいのではないかと感じた。

動画で説明されるため何度も見返すことができて良い。

動画として出されているので、何度も見返すことができたので良かった。所々音声が途切れていることがあった。

動画と資料の内容が確認テストの内容とほとんど一致していて良かった。

動画の説明がAIのため学習意欲があまり湧かなかった。

動画の内容が分かりづらい時がある

動画や講義資料があり、どういった行動をとればよいのか自らで動くことができる点は良いと思ったが、少し内容が難しいところや資料では説明しきれてないところがあったのでもっと詳しい資料を準備してほしかった

動画を見た後に小テストで理解の確認が出来たのでとてもよかったです。

動画を見て、その動画に対応する問題を解き、理解を深める授業の進め方が自分には合っていた。

動画を見るだけでなく、Excelなどを実際にしてみることは良いと思った。

動画を見るだけでなく、確認問題で繰り返し学習することでより深く学習できてよかったです。

た。

動画内容が淡々とスライドを読み上げているだけなので、補足で情報を加えたり、2人の対話形式にして授業を進めたりなどして欲しいです

特にありません

特になし

特になし

特になし

特になし

特に数式を用いて説明される授業にて、もう少し分かりやすい説明をしてほしかったです

読み上げの音が不快

難しいと感じることもあったが、初めて知ることも多く面白かった。

難しい単語が多く、理数系の内容が多かったため内容理解が難しかった。情報リテラシーの課題が難しすぎる。

難しかった

年末年始に授業の視聴期限が設定されていたが、配信の方法をとっている他の講義は年末年始を避けて視聴期限を設定していたので、可能であれば配慮をしていただきたいと感じた。

農業でも AI 化が進んでいるため、将来役に立つ内容を自分のペースで学ぶことができるのは良いと感じた。

非同期型で課題提出期間が 1 週間あるので時間があるときに課題に取り組めるのでよかったです。

分かりやすく簡潔に重要ばまとめが為されているため学びやすいと私は感じた。

聞いたことがないシステムについても具体例などが挙げられていたため理解しやすかったです。

勉強にはなったけど説明不足なものがあった気がする。

問題の回答が 2 回まで可能だったことがありがたかった。

用語をかみ砕いて細かく説明しており、スライドもわかりやすいのですんなりと内容が頭に入ってくる。字幕がついているのも good。

両授業について言えることは、情報に詳しい教員が直接教えていないことによる惰性感が興味関心を後退させているのではないかという点です。1 学期の授業は対面でしたが、授業構成自体は 2 学期と変わりませんでした。動画を見て、スライドに書いてある答えを見て、小テストを回答するといった構成です。このような授業構成では内容も頭に入りづらく利用場面が具体的に想像できないので興味関心を持ちにくかったです。また 1 学期の最終課題について、評価方法を担当の先生に訊ねたところ「よくわからない」と返された点についても改善してほしい点になります。評価を moodle で確認できるのは成績管理の点で良いと思いますが、評価基準自体を教員が把握していないのは学生に対して失礼ではないかと思います。

良いと思う点は、数字の苦手な自分にも理解できる授業内容だったので、改善してほしい点は、確認問題でまれに授業内容だけでは理解できない問題があったという点です。

良い点としては、今日の生成 AI に関する課題などタイムリーな問題も知ることができ
る点であると思う。一方で、難しい計算式が出てきてよくわからないまま授業（動画）
が終わるということもあったので、数値ではなくてイラストで具体例を出して説明され
るとよりわかるかもしれないと思った。

良い点は、授業資料がとても見やすく構成されていた点である。

良かったと思う点は、今後におけるインターネットの活用についての様々なことを詳細
に知ることができたことです。

例えば、先生も積極的に授業の課題についてその意味や、解き方を教えてくれるような
授業をしてほしかった。ただただ受動的に動画を見て課題を解く、先生もやるだけやる
という感じだった。

例などがあつて説明が分かりやすかった。課題をやつたことで、将来情報で活かせるこ
とが少し身についたと感じた。

話すペースがちょうどよかったです。

また、データサイエンスの教育プログラムや授業について、ほかにコメントがあれば記入
して下さい。（設問 14）は以下の通りである。

とても勉強になりました。ありがとうございました。

ただの動画の垂れ流しでプログラムを習得できたとは思えません。学ぶのであればきちんと
した専門家のもと学びたかったです。

講義を受けてとても楽しかったです。

今後も学んでいきたいと考える。農業にうまくいかせることを自分でピックアップして
いきたい。

1年間ありがとうございました。

とても興味深い授業でした。

高校生の時から深層学習には興味があつたので、自分で独学で仕入れていた知識が役
に立ってやや喜ばしい。

来年から高知大学において AI の使用規則が変わると聞いたのですがそれについての説
明・講習等は実施されるのでしょうか。

「情報とデータリテラシー」は今後も続けるべきであると考える。もし可能であれば、
同講義や他の講義でセキュリティ対策について学ぶ機会を設けるとよいと考える。本学
でもフィッティングメールにひっかかる者が多いと別の講義で知ったので、必修科目で知
識を習得させが必要だと感じている。

パソコンの使い方の基礎を学ぶ時間をつくってほしい。

実践的な課題をデータサイエンス入門で行うべきではないだろうか。

データについては今後も進化していくので、追って勉強していかねばならないと思う。

1年間ありがとうございました。

難しいかもしれないが、「データサイエンス入門」でも対面で授業を行つた方が分かり
やすいし、授業の内容に興味を持てると考えた。

情報とデータリテラシーでは TA などの学生の人しか丁寧に教えてくれなかつた。

前期・後期の授業になにかしらの繋がりを持たせてほしい。また、これから世界では
データサイエンス及び、情報通信技術、プログラミング等に対する理解や、それらを使

いこなせる能力は必須だと思うので、2年次においても、必修授業でデータサイエンス的なものをやってほしい。(教育プログラムに組み込んでほしい。)

身近なもので例えるなどわかりやすくイメージできる例が欲しい

AIを活用する授業を受けたくなった。

今回の授業で、AIやデータサイエンスについて興味を持つことができました。

基本3つのアプリについてより詳しく学べた事。

令和6年度から初年次必修科目2科目を新規に開講し、令和6年度以降入学生全員がプログラムの修得を可能となる教育体系となった。また、理工学部と農林海洋科学部が応用基礎レベルについて認定を受けている。

高知大学のリテラシーレベル数理・データサイエンス教育プログラムについて、学生、教員のアンケート結果を踏まえ、より満足度が高まるよう引き続き改善を行っていく。